

長雨・日照不足及び台風 13 号に伴う農作物等の被害軽減対策について

令和元年 9 月 4 日
広島県農林水産局農業技術課

1 長雨・日照不足

8 月中旬以降曇雨天が続いており、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年よりかなり少なく推移しています。

広島地方気象台は、8 月 30 日「日照不足と長雨に関する広島県気象情報 第 1 号」を発表しました。今後 10 日間程度は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間の少ない状態が続く、また、降水量も多くなる見込みです。

今後、農作物への影響が懸念されるため適切な管理作業を行ってください。

表 1 本年 8 月 18 日～29 日の日照時間と降水量(速報値)

	日照時間 (h)	平年比 (%)	降水量 (mm)	平年比 (%)
広島	15.9	20	256.5	598
呉	20.7	26	168.0	431
福山	32.9	39	125.0	383

作 目	対 策
水稲	<ol style="list-style-type: none">1 天候が回復次第、すぐに収穫できるよう排水対策を行うこと。2 粃は高水分となっているため、コンバイン収穫時に損傷粒等の発生がないよう、コンバインの走行速度を落としたり、こぎ胴回転数を調整すること。3 収穫は降雨の合間をぬって行うが、乾燥能力に見合った収穫と収穫後は速やかに乾燥作業へと移り、品質低下を防止すること。4 乾燥作業は通風乾燥から始め、徐々に加温し穀温が 40℃以下で乾燥作業を実施すること。特に、急激な乾燥は胴割れ等品質低下や食味低下の危険性が大きいので行わないこと。5 倒伏、穂発芽したものは分別して収穫・乾燥を行い、品質低下を防ぐこと。6 トビイロウンカについては、基幹防除を徹底するとともに、ほ場の観察を定期的に行い、病虫害発生予察情報予報第 8 号及び技術情報第 4 号を参照し防除を実施すること。
大豆	<ol style="list-style-type: none">1 圃場の排水に努めること。2 病害が発生しやすいため、必要に応じて防除すること。
施設園芸 (野菜・花き)	<ol style="list-style-type: none">1 施設周りの排水を徹底し、内部への水の侵入を防ぐこと。2 昼間は十分に換気し、過湿にならないよう通風をよくすること。寡日照が続く中での晴天は急激な環境変化による葉やけなどを起こしやすいので注意すること。3 適切な薬剤散布により病害発生を防ぐこと。

野菜 (露地)	<ol style="list-style-type: none"> 1 圃場の排水に努めること。 2 病害が多発しやすいので、防除を徹底すること。 3 必要に応じて葉面散布を行い、草勢の回復に努めること。また、肥料が流亡した場合は、草勢を見ながら早めの追肥を行うこと。
果樹	<ol style="list-style-type: none"> 1 園地の排水に努めること。 2 耕土が流亡し、根が露出している場合は、客土により覆土すること。 3 病害の多発が懸念されるため、薬剤散布を行い予防に努めること。 4 収穫は、果肉先熟に注意し、採り遅れないようにすること。
花き	<ol style="list-style-type: none"> 1 圃場の排水に努めること。 2 肥料の流亡が予想される場合は、葉色を見ながら追肥すること。 3 病害の多発が懸念されるため、薬剤散布を行うこと。
畜産	<ol style="list-style-type: none"> 1 畜舎の周りや運動場の排水対策に努めること。 2 畜舎内の通風と換気に努め、敷料は早めに交換すること。 3 飼料作物の栽培圃場の排水に努めること。

2 台風

台風 13 号 (レンレン) の接近に伴い、今後の進路によっては、広島県でも強風及び大雨による農作物等への影響が懸念されます。

最新の気象情報に注意しながら、被害を最小限に食い止めるよう対策に努めてください。

なお、具体的な対策については、令和元年 8 月 9 日付「台風 10 号に対する農作物等の被害軽減対策について」を参考にしてください。

問合せ先

西部農業技術指導所	東広島市八本松町原 6869	電話 082-420-9661
東部農業技術指導所	福山市三吉町 1 丁目 1-1	電話 084-921-1311 (代)
北部農業技術指導所	三次市十日市東 4 丁目 6-1	電話 0824-63-5181 (代)
県庁農業技術課	広島市中区基町 10-52	電話 082-513-3559